

# 流山 九条ニュース

「九条の会・流山」事務局

阿部 7140-7605 石林 7154-7511

齋藤 7143-0374 三原 7152-6559

2010.1.1 NO.46



「九条の会・流山」HP：<http://www.nagareyama9.org/> メール：[info@nagareyama9.org](mailto:info@nagareyama9.org)

## あいまいなままの戦争責任

### 九条の会・流山の学習と懇談の会 NHKビデオ「日本海軍 400 時間の証言」



12月9日(水)の拡大世話人会は今夏の NHK 特集のビデオを見て話し合いました。世話人の K さんがお手持ちのビデオプロジェクターで映写して下さい、大きな画面をみんなで見る事が出来ました。

特集は三回連続で①「開戦 海軍あって国家なし」②特攻 ③戦犯裁判 が放映され、その後再放送や評論なども続けて報道されています。

今回はその第一回の分を見ました。そして陸軍との対抗上開戦にいたった経過。「東洋平和」「アジアの解放」などと宣伝された開戦の目的は当事者からは全く語られなかったこと。海軍の軍備拡張に皇室が大きな役割を果たした事。軍令部が独走し正確な情勢分析もないまま開戦し拡大して行ったことなど生々しく語られており、参加された皆さんからも驚きの声が多くあがりました。

ぜひ多くの方にもこの記録は見ていただきたいものです。三回分のビデオがありますので、ご希望の方にはお貸しできます。

※ NHK の報道をはじめ貴重な映像資料が報道されることがあります。お気づきのものがありましたらご紹介、ご提供下さい。(石林)

## 感想

### NHK 特集「日本海軍 400 時間の証言」を見て 土屋美代子

3回連続のうち、第一回「開戦 海軍あって国家なし」を見ました。

昭和55年に始まり、月に1度のペースで11年、130回に及ぶ海軍の「反省会」が都心のビルの1室で持たれていました。参加者はのべ40人、海軍省の上に位置していた軍令部の元将校た

ち、いわば海軍の司令塔の面々でした。内容は225巻のテープに残されました。

私が特に注目したのは、野元氏が皇室の責任を追及した部分でした。皇族の伏見の宮(昭和天皇の相談役)が9年間も軍令部トップの位置にいて、その間に法律が改定され、だれも異を唱えることが出来ない組織になっていったこと。そして、ブレーキを掛けられないまま、軍備拡張が急速に行われたこと、これが大きな問題点だったと強く主張したのです。伏見の宮の元側近も「軍事力と皇族の権威が結びつくと問題だ」と発言しています。この場面には当事者たちの強い意志と緊張感が感じられました

開戦に直結した海軍内部のもろさも露呈されました。大陸侵略にまい進していた陸軍の暴走を止めることが出来ない上に、陸軍に遅れをとると海軍の威信にかかわる、という論理で「真珠湾攻撃」という日米戦争の端緒を開き(この時の戦果にもごまかしがあったと、先日のNHKの特集にありましたね。)全く勝算もないまま、長い敗戦への道筋に国民を巻き込んでいったのです。

「戦争の真実を残す」「次の時代に悔いを残さないため」という参加者の声をもっと強ければ、このテープが早くに公開され、今日の情勢にも変化をもたらしていたのでは?と感じました。

特集は、組織や人間にも根本的な問いを投げかけ、考えさせられました。

## 映画「いのちの山河」上映予定

◆東京 新宿武蔵野館 ただいま上映中

(来年1月8日まで上映……1/1は休館)

上映時間 10:00~12:10

当日券は1800円ですが、ご案内している製作協力券(1000円)で入場できます。(世話人までどうぞ)

◎松戸市民会館

1月16日(土) 10:30 14:00 18:30

## 政府とマスメディアは真実を語れ！

### 普天間基地固定化、 辺野古新基地建設は許さない！

国土の0.6%の土地に在日米軍基地の75%が集中する沖縄。中でも海兵隊の普天間基地は住宅地



のど真ん中、米国内なら絶対に許されない場所に居座る危険極まりない基地だ。前政権は、この基地の危険性分散のためと称して、同じ沖縄の名護市辺野古に新基地をつくろうとした。昨年誕生した現政権は、普天間基地を県外・国外に移転させるか、辺野古の新基地を認めるかの結論を先送りしたが、毅然とした態度をとり切れていない。防衛省や外務省そしてマスメディアは、辺野古の新基地建設を拒めば日米関係が壊れる、危険な普天間基地がそのままになる、と悪質なキャンペーンを張っている。

しかし、基地撤去を求める市民運動や普天間基地が置かれた宜野湾市当局などの努力で、米国と日本政府のそれぞれの本当の思惑が、次第に明らかになりつつある。

米国の思惑は、沖縄の海兵隊は司令部も実戦部隊も全てグアム島まで引き上げる、いざというときには戦場に迅速に兵力を投入する、日本が沖縄の基地の維持と辺野古の新基地を認めるならそれも願ってもない話、沖縄の基地は1平米でも多く確保し続けられればそれに越したことはない、というものだ。海兵隊をグアムまで引き揚げても米国の軍事作戦に支障が生じなくなった背景には、軍事技術の飛躍的向上がある。米国のこの計画は「グアム統合軍事開発計画」と呼ばれ、そこでは沖縄に置かれた海兵隊の司令部や普天間のヘリ部隊を含む各実践部隊名までが具体的にあげられている。これが単なる計画でない証拠に、すでに環境アセスメントも行われている。

日本の外務省や防衛省の思惑は、米国が少しでも機嫌を損ねる要求はしたくない、新基地建設を目当てに動き出している内外の利権勢力と事を構えたくない、それが自分たちの省益だ、というものだ。そのために、ブッシュ政権時代に辺野古新基地建設を推進した米

国内の政治家や官僚たちと気脈を通じつつ「米国は怒っている」という演出が行われ、「グアム統合軍事開発計画」については口をつぐんだまま、「日米関係が壊れる」「普天間基地縮小がご破算になる」などというウソが垂れ流されているのだ。

辺野古の新基地計画は、普天間の危険分散のためなどでは断じてない。それは、「グアム統合計画」を含む米軍再編の見取り図の中で、老朽化し使い勝手が悪くなった普天間基地に代えて、滑走路と軍港と（隣接するキャンプシュワブの）弾薬庫を合わせ持った新たな高機能基地を沖縄に付け加えようという計画だ。沖縄の人々に、新たな苦難と災厄を押しつけてはならない。（阿部）

### 九条の会宣伝活動 **ご注意!** (9日は中止) 一月は成人式会場前

1月10日(日) 11:30~12:30

流山文化会館(成人式会場)

12月9日はNHK特集の海軍のビデオを見て若干の意見交換をしたあと急いで駆けつけての宣伝でした。9名が参加。世話人会で十分時間がとれず、相談が出来なかったため、22日に改めて世話人会を開いて一月の予定を決めました。

### 会員増とカンパのお願い!

「九条の会・流山」は結成後4年目に入り、現在会員約300名となりました。毎月「9日」流山おたかの森駅でのピラマキ、署名などの宣伝を会員の方々のご協力を得て続けてきました。また毎月初に「流山九条ニュース」を発行し、会員にお届けしております。他地域の会はほとんど年500円、1000円などの会費制をとっていますが、私たちの会は会費制ではなく、皆様方のカンパでこれまでの活動が支えられてきたことを心から感謝するとともに、新年を迎えて、活動をさらに発展させるためにあらためて皆様にカンパのお願いをいたします。お近くの世話人にお届けいただくか、下記の郵便振替口座にお振込みくださいますよう、よろしくお願ひいたします。またお知り合いの方を会員になっていただくようお誘ひ下さい。

カンパはこちらの郵便振替口座へ

00130 - 5 - 464735 口座名 九条の会流山